

総会、理事会、部会、運営委員会及び各委員会活動一覧

各部会及び委員会名	活 動 内 容
総会	正会員で構成された最高意志決定機関 鉄車工の理事及び監事の選任、理事及び監事の報酬等の額、事業報告書及び決算書類の承認、定款の変更、その他法令又は定款で定められた事項について決議する。
理事会	鉄車工の業務遂行の決定、会長・専務理事及び常務理事の選定、重要な規程類の制定を行う。
運営委員会	理事会へ提出する議案、理事会又は会長からの諮問事項等を審議を行う。
部会	事業の円滑な運営を図るため、会員の業態に従って、理事会の下に車両部会、電機部会、部品部会」を置いている。
鉄車工規格審査会	・鉄車工が発行する団体規格(JRIS)の、公明性、中立性を保つために、中立者、使用者、製造者で構成する委員会組織でJRISの審議を行う。 ・年間に平均2回開催し、原案の審議、指摘を行っている。
広報委員会	広報・教育活動全般に関する方針並びに計画を審議を行う。 主な審議事項:「鉄道車両工業」誌掲載記事候補、車両講習会テーマ、新造車両等の試乗見学会候補
「車両技術」編集委員会	・「車両技術」誌に掲載する記事候補の審議を行う。 ・巻頭言を依頼する方の検討を行う。 ・発行直前の「車両技術」誌の内容確認を行う。 ・記事の様式及び編集方針の整理を行う。
鉄道工業ビジネス情報研究会	メディア報道に見る鉄道関連の世界市場とビジネスの動きの研究、審議を行う。 ・鉄道工業ビジネスに資する情報の提供する。 ・「鉄道車両工業」誌に論説の掲載する。 「世界市場インプレッションーメディア報道に見る鉄道関連の世界市場とビジネスの動き」
車両生産委員会	業界全体の生産性向上と品質維持・向上に寄与するために、4つの小委員会を設置して、生産活動全般についての調査研究を行う。
生産管理小委員会	車両メーカーの生産管理システムに関する調査研究を行う。
車両生産小委員会	構体に関する調査研究を行う。
電機・ぎ装小委員会	機器関連およびぎ装作業に関する調査研究を行う。
台車小委員会	台車製造に関する調査研究を行う。
基準整備委員会	・委員長は車両技術分科会の委員長と同じ鉄道総研の企画室長に依頼。 ・鉄道車両分野で必要な規格類の抽出、優先順序をメカ委員が主体になって検討審議し、その結果を会長に答申する。 ・対象とする規格は、国際規格、海外規格、JIS、JRIS。 ・JRISの原案を審議し、規格として適正であるかを判断する。
JRIS整備部会	・主査及び委員はメカ委員で構成。 ・JISの制定提言、JISの改正、確認、廃止などの見直しに対する検討を行う。 ・JRISの制定提言及び改正、確認、廃止などの見直しに対する検討を行う。 ・JRIS原案の内容確認。・JRIS原案作成部会の活動内容確認を行う。
JRIS整備車体部会	・メカ委員で構成。 ・車体に関わるJRISの制定、改正、確認、廃止を審議して、基準整備委員会に報告する。 ・新規制定する規格原案を委員で分担して作成する。 ・個別のメカが関連する規格案作成は、個別の作業部会を設置するなどのステアリングを行なう。

各部会及び委員会名	活 動 内 容
JRIS整備ぎ装部会	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカー委員で構成。 ・ぎ装に関わるJRISの制定、改正、確認、廃止を審議して、基準整備委員会に報告する。 ・新規制定する規格原案を委員で分担して作成する。 ・海外規格と国内規格との対比を行ない、活動内容の修正を検討する。 ・個別のメーカーが関連する規格案作成は、個別の作業部会を設置するなどのステアリングを行なう。
JRIS整備電気機器部会	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカー委員で構成。 ・電気機器に関わるJRISの制定、改正、確認、廃止を審議して、基準整備委員会に報告する。 ・新規制定する規格原案を委員で分担して作成する。 ・国際規格案の中で作業負担の少ない案件に関しては規格案の検討及びコメントまとめをおこなう。作業負担の大きい案件は、個別の作業部会を設置して審議するなどのステアリングを行なう。
JRIS整備ブレーキ部会	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカー委員で構成。 ・ブレーキ機器に関わるJRISの制定、改正、確認、廃止を審議して、基準整備委員会に報告する。 ・新規制定する規格原案を委員で分担して作成する。 ・国際規格案の中で作業負担の少ない案件に関しては規格案の検討及びコメントまとめをおこなう。作業負担の大きい案件は、個別の作業部会を設置して審議するなどのステアリングを行なう。
JRIS整備台車部会	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカー委員で構成。 ・台車に関わるJRISの制定、改正、確認、廃止を審議して、基準整備委員会に報告する。 ・新規制定する規格原案を委員で分担して作成する。 ・国際規格案の中で作業負担の少ない案件に関しては規格案の検討及びコメントまとめをおこなう。作業負担の大きい案件は、個別の作業部会を設置して審議するなどのステアリングを行なう。
個別規格作成部会	<ul style="list-style-type: none"> ・個別案件毎に関わりのある鉄道事業者及びメーカー委員で構成。 ・基準整備委員会、JRIS整備の各部会等からの要請又は、規格体系充実のために必要と判断された場合に設置する。 ・担当する規格原案が審査を経て登録された時点で解散する。
車両データ集編集部会	<ul style="list-style-type: none"> ・基準整備委員会に参加しているメーカーの委員で構成。 ・新形式車両が誕生したときに主要諸元を統一した様式に沿って表示した資料を作成する。 ・類似車両の諸元を対比することにより、品質・機能を確認し、次の車両へ反映する。
車両技術検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省が支援している「国際規格調査検討会」の下部組織で、鉄車工が事務局を担当。 ・ビジネス分野における国際規格の重要性に鑑み、車両及び車載電気品に関わる国際規格案の審議及びコメントを確認する。 ・委員長は鉄道総研の企画室長で、国交省、鉄道事業者、メーカー委員で構成。各年度における調査活動の成果を報告書にまとめて各委員に配布する。 ・鉄道車両分野の規格体系を分析して、不足している範囲の規格を充実させるべく提言する。
JIS原案作成委員会(個別案件毎)	<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者・中立者、鉄道事業者及びメーカー委員で構成。 ・JISの制定・改定・確認・廃止を基準整備委員会で決議し、規格原案を作成する必要がある時に個別案件毎に設置する。 ・個別案件の規格原案がJISCでの審査を経てJISとして登録された時点で解散する。
電子情報化委員会	<ul style="list-style-type: none"> 鉄車工の電子情報化に関する審議並びに鉄道車両工業界や異業種の電子情報化の調査研究及び鉄車工事務所内の電子情報化の推進を行う。 ・鉄車工電子情報化に関する決議機関 ・年度計画の事業計画の実績の進捗管理及びフォローアップ

各部会及び委員会名	活 動 内 容
環境委員会	経団連の行動計画への参画を通じ、生産活動における環境問題に取り組むための活動を行う。 <ul style="list-style-type: none">・CO₂排出削減に関する自主的取り組み・廃棄物削減に関する自主的取り組み・VOC排出削減に関する自主的取り組み・環境問題に関する各社取り組みの情報交換
テーマ別研究会	委員会活動とは別にテーマ別に関係会員会社をメンバーとした研究会を設置する。